

№1370, BASTOS, 23 de JULHO de 1973. O PROGRESSIST, REC. Nº 2592 SAO PAULO. A.P.

バストス週報

第1370号
昭和四十八年
七月二十三日
月曜日発行
Director
Koiti Mori
Redator
Shion Oda
Rua Pres.
Vargas, 188
C. Post. 112
Fone, 40
BASTOS
C. P.
Annual
Cr. #
30.00
Adiant.

水紋 30

入植祭よ、又来年も

開植四十五周年と云えば一寸とした歴史である。どの植民も無事平穩に育成したものは恐らく皆無だらう。色々な困難と戦い、一歩一歩と地盤を築いた苦しい定算をふりかえって見ると、長い苦汁のあとがはつきり刻みつけられている。その汗と血にまみれたあとをふりかえり、よくここまで耐えて来たものだ。自ら慰め、将来に對する勇氣を更新するのが、入植祭の行車である。一口に四十五年の歴史といっても、最初からバストスに入植した人は既に高齢に達し、人生の大半をここで過したので、思いは更に深く、感慨も亦一しおのものがあろう。

ブレフエイツラが入植祭の主催者となつてから、もう四、五年にもなるが、この方針さえ変わらねば、バストスの入植祭は、いつまでも続くだろう。

今年も四十五周年という特別祭にあたるので、思い切つて大フェスタにしたのだそう。七月十五日からはじめて、二十二日(合)まで八日間、という長い期限を充當したことは、さすがバストスだという評判をまく。

これは養鶏関係の商社などの要望を入れたらしいが、凶角の展示会に金をかけても、二日やそこいらでは物足りず、充分に見てもうらためたに期間を延長して欲しいというのである。会場も市役所の空地(元のフットボールカンポ)をあて、十数棟のバラックとピニール式の大天幕(四十五×十八M)を設置し、趣向を一新した。農産品評会をはじめ、各種の展示会を広々とした一堂に集めたものである。

○ 十五日の催しもの

午前十時展示会のイナグラソン、展示会は毎夜十時まで開放したので、ひる間出にくい人達も、充分に見物することが出来る仕組で、そんな点にも細かい心遣いがうかがわれた。

夜は七時半から演舞場で、ブラジル人中心の音楽ショー。大変な賑いだ。た。何しろ、入植祭という日系人を中心としてこれまで催されて来た関係上、伯人が舞台に立つ機会が打ちつたので大喜びであった。これまでもルマ(街)で見せ物

式のショーは時々あつたが、本式の舞台を利用したショーは今回がはじめてである。

イグレーション、附近から演舞場へかけて露天商がずうりと店をひろげ、お祭り気分をいやが上にも盛り上げた。

○ お地蔵さんの建立九周年法要午前九時、墓地前で行われた。

○ 十六日の催し

演舞場で公開シネマ大会、午後八時より、これも無料打ので大賑い。展示会は昨日につづき、二十二日まで続行、会場内の食堂バトルも大賑わい、バストス入植祭もいいが、食事に困るといふ声がある。ゴルフ倶楽部の着想で、ツパン市からケアルシ、食堂を出張させたもので、一々家へ帰つたりすることもなく、頗る好評。

この食堂は十五日からはじめ二十二日まで、とくに最後の三日間は大繁昌だ。

○ 十七日の催し

夜七時半より演舞場で伯人向ショー。伊藤総領事歓迎パンケツテ(午後一時、故石橋長光氏叙勲(勲五等瑞宝章))

WAKAMOTO

老年 青年 少年 幼弱 衰弱 衰

CONVALESCENÇAS EM GERAL
ENZIMAS + COMPLEXO B + MINERAIS

百倍強力



伝達式。右入植の行事では無いが、三重県から石橋氏へ叙勲の申請があった由。

○ 十八日の催し。夜七時より演舞場に於て昨日のシネマ再演。

○ 十九日の催し。夜八時より、故凡山敷市議を記念し、徒歩競争・多数の青年が参加し、市街を一周。規定では走らずに急いで徒歩するのだが、なかなか止すかしのらしい。

○ 二十一日の催し。正午より、ゴルフ、クラブに於て、アルモツソ、テ、ガロ口。主として養鶏関係、飼料店等の主催で、平年はサンパウロに於て毎月第三金曜日に催されて来たが、本年はバストスの卵祭に会場を利用したものである。

○ 夜七時より演舞場に於て大演芸会。例年のことだが、将すなわすなの大演員、場内入口附近には、ふるさと、パール、P.L.パールと大繁昌。開場十一時、一寸も過ぎなかった。

○ 二十一日の催し。午前七時半、イグレーシャ、サンフランシスコに於て感謝のミサ。

○ 午前八時半親善野球入場式(バストス球場)試合経過次号。

○ 午前十一時、高官歓迎、学生行進、小ざり町バストスにかくも中學生、高校生が居るものかと、いさよか驚天する位、各ルア、どこも人の波。

○ 午前十一時半、諸展示会イナグアソンの。こんどの展示場の見ものは、ピニール天幕会場であった。空気を施風機で、て天幕をふくうませる付掛けである。はじめに見る建物だけに珍らしくて、又掛り員も多数居り、送風装置を管理するので、大変な物入だろうという人もあった。

○ 正午十二時、かねて病院横側、新建築中であつたサンタ・カリーサが出来上つたので、イナグアソンが行われた。

○ 午後十二時半、総合会館に於て大パンケツテ。午後七時、演舞会、昨夜につづきバストス連中の熱演、昨晚と今夜をバストス出演者がつとめた。

○ 午後十時、フェスタ、テ、オーボの大舞は愉しもうであつた。

ORGANIZAÇÃO RIO BRANCO S/C
ADVOCACIA CONTABILIDADE E DESPACHOS

営業案内
 法律(民法、刑法、労働法)
 シンシケート顧問弁護士
 会計 事務
 保険(生命保険、自動車保険、農業保険、その他)
 外国人登録各種イデンチタデー
 帰化手続き、身分証明
 所得申告
 諸申請書式一切

Dr 石川雅宏
 Dr 小林平行
 プシチンテ、バルカス街 一八九
 法律会計事務所
 郵函 一〇三
 電話 一〇五
 一八〇

故 石橋長見氏 叙勲

七月十七日午前十一時半サンパウロ総領事伊藤正雄氏御夫妻マリリアより石橋氏に御到着。直ちに勲章伝達式にうつつた。総領事の挨拶中の言葉によると、石橋氏のようなコロニアに於ては、当然生前に叙勲される可きであつたが、今回手続きを遂げて田中総理大臣の名を以て、勲五等瑞宝章を下賜されることになつたと、石橋とし子に叙状並びに勲章を手交された。

これに對し、令息通之進氏が謝辞を述べ、式は終り、別室でカクテルパーティの饗宴があり、崎田文相会長の乾盃の音頭でお目度うの聲が挙つた。

末會者およそ百人、故石橋氏は病阿に宛れたが、よくバストスの指導者として、終してくれた功業が讃いられたことを喜が合った。

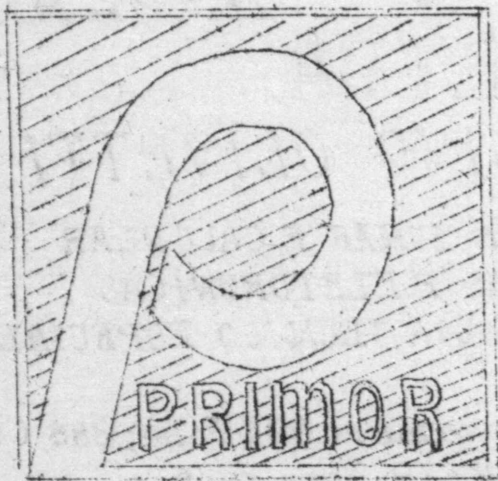
因みにバストスでは石橋氏が四番目の叙勲者である。パラベンス

伊藤総領事は総合会館に於ける歓迎パンケツテに出席のため退去された。

参加者。場内は興奮のルツボ、男女の舞踏は愉しもうであつた。

ラッソン プリモール

祝
 バストス
 No 4.5
 入植祭



ラッソン・プリモールを信用して下さい。
 広範囲な分析をした信用ある原料を使用して
 居ります。
 飼料はコンピュータ、ドール計算機によって配合
 されました。栄養と経済とには、安心して使
 用できる。それはプリモール会社の飼料であ
 ります。
 飼料の問題なら、プリモール、パウリスタ飼
 料会社においでください。
 日系技術者が御相談致して居ります。

Y
 não
 confie
 na
 sorte

MOINHO PRIMOR PAULISTA LTDA

Av. Nações Unidas, 2.000 (Av. Marginal-Pinheiros) Fone, 286-1659-Pinheiros-São Paulo-SP

「昭子は、医者には、よくわかりませんが、このところお医者様にはうかがってはいないようですが、実は医者に対しては、茂造は不信感を持っています。その揚句が漢法薬に凝り出したのだが、そんな話をここでするわけにはいけません。さいわいに茂造は診察に入る前も、入ってから温和しくしている。」

「さあ、では、胸を聞いて下さい。」

茂造は言われた通り、素直に上衣を自分で脱ぎ始めたが、動作が緩慢なので、細子が手伝った。

「いい躰をしておられますね」と医者は言ったが、茂造も昭子も黙っていた。若い頃は背の高い美丈夫だったという話だが、昭子は若い頃の茂造を見たこともないのだから。しかし体格は確かに並の老人より立派だった。ふと、これでは一つの骨壺には入りきれないだろうと思ひ、昭子はそんな連想をしている自分に嫌気がさした。

「はい、大きく息をして下さい、そうして、はい、もう一度。」

医師が聴診器を当てながら、子供を抜くように言い、すると茂造は言われた通りに深呼吸をしている。

しかし、それからが大変だった。看護婦の乃に何か用意を命じてから、医者は茂造を隣室へ連れて行き、ジー、ガチ、ン、ジー、ガチ、ンと音をたてて、何枚も何枚もレントゲン写真をとりました。のである。葬式のあとで出費に敏感になつて、昭子は飛び上るほど驚いた。レントゲンというものは安いものではない。この医者も看護婦も、茂造に健康保険があるか、どうか訊かされた。こんなにたて続けにX線をかけて、これが全部保険でなく現金払いだったらどうなるだろう。隣室に駆け込んで診察中止の懇願したい衝動を抑えながら、昭子は落着かなにかつた。具体的に病状が現われているわけでもないのに連れて来たのは、私が悪かったのだ。と考えるようにした。だが、もととはと言え、京子が言い出したのだ。相当壊れているから診せた方がいい。と、しかし京子は重ねてこうも言った。この医者で呆けたのが癒るとは聞かないけれど、と。

「自分の実の親だというのに、なんと云う無責任な人だろう、と昭子はぼつぼつ小姑に対する腹立ちを抑えられなくなつて、何を相談しても騙やかに答えるが、その実中実は何もない。あれは自分の方では金銭的な負担は一切しまいといふ防衛本能なのだ。そうに違いない。昭へ戻ってしまつた。」

祝バスタス
No. 45 入福祭

MACVETTI LTDA

AGENTE EXCLUSIVO OLIVETTI

MAQUINAS DE ESCREVER SOMAR E CALCULAR
MANUAIS ELETORICAS E ELETORONICAS
OLIVETTI ASSISTÊNCIA TECNICO ESPECIALIZADA
PERMANENTE

BASTOS - Rua 10 de Novembro 551 Fone; 388 (C.P. 9)
TUPÃ - Rua Caetes Nº 679 Fone 2526



計算機 電気計算機 タイプライタ フィッタ
電気タイプライタ フォルミカ事務机 アルキボ
コフレ (金庫) 等々

ATENDE BASTOS E REGIÃO

林 広 人

昭子は病の立つたあまりに医者が隣室から出て来たところを掴まえて、いきなり訊いた。

「先生、これは、おいくらぐらいかかりますんでしようか？」

「医者は眼鏡の奥から、昭子の深刻な表情を診断したようだった。彼は冷静な口調で昭子の問いかけに答えた。

「毎年、敬老の日から一カ月間、つまり十月十五日までは、六十五歳以上のお年寄りには無料で健康診断が受けられるのですよ。」

「はあ。」

そんなことは昭子は全く知らなかった。年末のいまはその期間に該当しないことは明らかである。昭子の落胆は大きくなつた。なまじ口になる可能性のあつたことを知つたために、かえって重苦しい気分になつてしまつた。

「しかしお宅もお物入りのところでしょうし、初めてお出でになつたのですから何とか致しましてよう。」

「はい、どういふ意味でしょうかと。」

昭子はもう少しで土下座してしまつたところだった。医者は、実費でしてあげましたよ、と言ってくれたのだ。何度も何度も最敬礼をしている間に、医者は隣室へ戻ってしまつた。」

祝 バスト ス入植祭 45週年

AYEMAX

産卵促進栄養剤

AD-MIX SUPER

病弱回復強壯、アンチストレス剤

スルファ剤による中毒予防に

PARA-STRESS

バシーナ、ニューカッスル、移動、

初生ヒナ時のアンチストレス剤



飼料用

メチオニン DL 99%

日本曹達社 デグッサ社製 etc

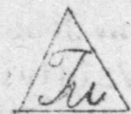
L-リジン 98%

共和醗酵社



VITASA Com. Importação LTDA

Representante



TAKAKUNI USHIAMA



AGROPEC Com. Importação LTDA

Fone; 246 e 433 BASTOS C.P.

v g

昭子は診察室の片隅に腰をおろし、医
は仁術なりという言葉は現代にあつても
まだ死んではいないと感じ、本当にあり
がたかつた。

レントゲンのあと茂造は診察室のベッ
トに寝かされ心電図をとったり、検査用
の採血をしたり、かたりの時間がわか
たが、昭子はそのたびにこれが実費です
むのかと思ひ、感謝に浸っていた。茂造
は温和しい子供のようになつていて、医
者の言うままだった。

一週間で結果が分ると言われ、昭子は
また何度も何度も頭を下げてから、茂造
の手をひいて家に帰った。

驚いたことには京子と敏と二人で片に
顔を突っこむようにしてラーメンを食べ
ていた。たちまち茂造が、
「腹が空きましたよ、昭子さん、何か食
べさせて下さいよ」と言い出した。
「どうでしたか」京子が顔を上げて昭子
に訊く。昭子は一部始終を話さうとした
が、茂造が空腹を訴え続けるので台所に
立ち、食事の仕度にかかると、昭子も空
腹だった。京子はいつた何をしていた
のだらうと思ふ。時分時分の、御飯く
うい仕掛けておいてくれていた。昭子
に、敏と一緒にいってインスタント、ラ
イメンを二人で掻きこんでいたとは
何事だらう。昭子も空腹が手伝うせい
か、しきりと腹立たしくなつていた。

「敏、あなたは何していろの、お丹々ら
流しに運んだらどうなの」
息子に当り散らしても、京子の方は鈍
感で一向に効き目がなかつた。

「まあ、そう？ 敬老の日かう無料なの
。いいこと聞いたわ、うちのお婆ちゃん
を来年は連れていかねえ、でも東京だ
けか知らね、そんな結構なことけ」
などと云つていろ。

「それで、お父さんは何処が悪いんです
か」
「さあ、結果は一週間たつたら分りませ
と仰言いましたわ」

「へえ、一週間もかかるとは、さうすか
血液検査は専門の大病院へ廻すんをせ
よう。」

「なる程ねえ、一週間ねえ
しげらく京子は考えこんでいて、
「嫂さん、私は初七日が終つたら帰しま
すよ」と言いだした。昭子がぼんやり手
を止めて京子の顔を見ると、
「私ね、姑がいますし、子供もいます
しね、いつまでも此処にいらわけにはい
かないでしょう、私はお花嫁を出た女だ
し」

「ええ、そりやどうですとも
「初七日まではいますけどね」
京子の言う通り、ここは京子の家であ
るや切。

O CASIÃO
VENDE-SE UMA CASA
NO JARDIM STA HELENA CONTENDO:
1 SALA, 2 ÁREAS, 2 DORMITÓRIOS,
COZA-COZINHA DE 6.50X3.00MT.,
2 PEQUENOS DEPÓSITOS, W.C E
GARAGEM.
TUDO EM MADEIRA DE 1ª. FORRA-
DA DENTRO E FORA TÔDA PINTA-
DA LATEX POR DENTRO E POR-
FORA Preço e condições a combinar
Negóssio direto sem intermediari-
os com Jose Marques Segura no local
Rua Valdivino Fernandes - 25
JARDIM SANTA HELENA
BASTOS

VENDE-SE CASA
売の家
木造二重張り、ピントアード
1 サラ、2 寝室、コバコシニア
六三〇×三三〇×三〇メートル
土間、庭、仕事用空地、浴室あり
電気、水道、下水あり
の場所ル、ウエルビル、フルナンデス
デイス、アノベンプロ街一番終り
シャルソンサンタ エレーナ
シヨビマルケス ビグラフィを
おたすね下さい

く、京子は自分の家のある北の国へ帰る
べき女なのであった。
突然茂造がしきりあげて泣き始めた。
「どうしたんです、お父さん」
「腹が空いたよ、腹が減って動けない
のですよ」両手の甲で顔を伝い、おん
おんと泣く男に、昭子は狼狽し、敏をバ
ン屋へ買物に走らせてから冷蔵庫の中を
覗いてみると、信利の残した蟹が入っ
ていて、「お爺ちゃん蟹があまりますよ」と言
うと、茂造はびたりと泣きやんだ。次男へ
有吉佐和子 著

ニルトン谷さん 奇禍
去る七月十二日深更谷口ニルトンさん
自働車でアダムンチーナ方面に向う途
中、オ、クルース山道へさしかかつた
、エストラダに牛が横になつていたので
に衝突し、車は転覆、頭を打つて重傷を
こうむつた。
何分の重傷で直ちにパウルの病院へ
収容手当を加えた。
十数時間昏睡状態であつたが、次第に
回復し、運よく生命に別状はなかつたが
、とんだ災難にあつたものだ。
退院の日の一日も早からんことを祈る
るや切。

死亡通知並に会葬御禮

夫・今岡通春(76)氏、アンドラシーナ病院にて病氣静養中の処、去る七月十四日午後十一時昇天いたしました。依つて遺体をバストスに連れ戻り、七月十六日午前十時自宅出棺、バストス墓地に埋葬いたしました。

此の儀生前辱知各位に御知らせ申上げます。

追つて而、葬儀の節は遠路諸々御会葬下され、その上御丁寧なる御香料並びに御華なと御贈与いただき誠にありがとうございました。

一々御廻礼に上る可きですが、取込中とて失礼乍ら紙上を以つて御礼申上げます。

一九七三年 七月十七日

中央 第五区

妻 今、岡 とく 代

長男 通 政

親戚代表 井 上 源 次 郎

通 子 雄

中央 区 会 様

中央第五組婦人会 様

連 合 婦 人 会 様

バストスL青年会 様

壮年会 様

婦人会 様

円 心 会 様

バストス仏教婦人会 様

ACB連合青年団 様

老人倶楽部 様

三拓製糸株式会社 様

SAPATARIA BASTOS

早川靴店



祝入植祭

四十五周年

バストス

電話 五六一
C.P. 一五九

RELOJOARIA TAKATA

バストス

四十五周年

祝



入植祭

grate



ロートピアリ才前

高田時計店

電話 九十三番

C.P. 一〇番

CASA MAEYAMA

四十五周年

祝入植祭

ラッソソツットラ

養鶏危機を乗り切る優秀飼料

飼料をお選びなら

栄養の点でも

経済の点でも

安心して使用できる

ラッソソツットラ

前山商店

養鶏飼料部

販売部員

佐藤 豊
木口 常治
藤武 良郎

1973年六月分バストスの気温と降雨量 株式会社製糸工業部 測候部

項目	気温 °C	湿度計 °C	湿度 %	最高 気温	最低 気温	降水量 m.m	風向	天候	雲量
1	23.0	19.0	63	29.5	14.0		S	○	
2	25.0	19.0	51	28.0	14.5		N	○	3
3	25.0	20.0	58	29.0	13.0		N	○	5
4	25.0	21.0	65	29.5	15.0		E	○	7
5	27.0	21.0	53	30.0	15.0		E	○	
6	28.0	21.0	47	30.5	13.5		N	○	
7	28.0	22.0	53	31.5	12.5		N	○	
8	26.0	20.0	52	30.5	15.0		N	○	
9	27.0	22.0	159	31.0	20.0	0.2	N	◎	8
10	22.0	22.0	100	26.0	17.0	9.2	S	◎	9
11	25.0	22.0	73	25.0	14.0		E	○	3
12	25.0	22.0	73	28.5	15.0		E	○	
13	27.0	22.0	59	29.5	12.0		E	○	
14	27.0	23.0	66	30.5	14.0		S	○	
15	26.0	23.0	73	30.0	14.0		N	○	
16	26.0	23.0	73	29.5	13.0		E	○	
17	27.0	23.0	66	29.5	13.0		E	○	5
18	19.0	18.0	89	30.0	17.0	6.6	W	◎	9
19	13.0	11.0	75	19.5	5.0		S	○	7
20	16.0	13.0	67	17.0	2.0		E	○	5
21	17.0	15.0	47	22.0	1.5		E	○	
22	24.0	18.0	50	27.0	9.0		E	○	5
23	28.0	20.0	42	29.0	14.5		N	○	
24	26.0	21.0	58	31.0	14.0		N	○	2
25	18.0	16.0	78	31.0	16.0	1.0	W	◎	8
26	18.0	14.0	59	18.5	7.0		E	○	2
27	20.0	18.0	79	26.0	15.0	8.0	W	○	
28	20.0	17.0	70	23.0	14.0	2.0	S	○	2
29	19.0	14.0	52	23.0	4.0		E	○	
30	24.0	18.0	50	25.0	8.0		E	○	
合計	705.0	578.0	190.0	820.0	371.0	26.8			
平均	23.5	19.2	63	72.3	12.3	0.8			

御 禮

全一 封也

御子息様のカリメンに少しばかり御手伝いをしていただきましてありがとうございました。前記の御寄附がごさく御礼申し上げます。

バストス仏教婦人会

山 忠 蔵 様

「お前、雄イロを好む」
「ピカソにして、青田一丈にして、いろ
「女と関係して、わんぱく
「英雄イロを好む。ていうじゃないの
「おれ、一人倍イロを好むんだぞ、
「たから出せがでさねいのさ
「の胃、痔、わ
「彼はさ、いじわるだから
「いぢわる？ そんなことないよ、いい人
「お酒のみで胃も痔も悪いのよ」

天皇の訪米御中止の内幕

アメリカの盛衰事件から

天皇、皇后両陛下下の御訪米は今秋は、
り、との結論を米政府に送った四月、
日夜政府首脳の人々が深慮にいたった。
政府は純粋に友好親善の立場から天皇
の訪米を考えていたのに、国内の政治的
反對勢力に押し切られて、漸急したよう
結果に、一たのは残念だ。

この言葉は天皇ご訪米中止に對する田中
内閣の何ともいへぬ、さる盛衰持を代弁し
ている。
天皇ご訪米断念の最前夜の理由は何
程から見ても、ずかしく、なっているが
實際の決め手になつたのは、米田中二ツソ
政の互角争ひを、さぶさぶといふ水門事件
だ、この見方が、一ばらばらだ、という、
社共兩党の「絶対反對」の態度によつて
政府の方針が、押切られ、面も香もない
すれによつて、天皇ご訪米を、推連とて、
脅にとつては、ほとんどハアニクだつた。

野党は「皇室を政界に利用」と反発

今秋のご訪米見送り、を、決めたのは、
月十九日田中首相、大平外相の会議であ
つた、と、ところが例のウイニエーター事
の、あおりで、政府が、ニフソンの特別
補佐官、ニフソンと、連絡がとれず、
正式発表は、ニフソン大統領の、
た二十四日まで、延ばねばならなかつた。
それでも、尚、米政府最高首脳が、天皇ご
訪米を要請してくるから、知れない、とい
う心配もあつて、田中首相、いらいらして
例、近々、とも、気配がわるかつた。
天皇ご訪米は、ニフソン大統領の、プロ
トタイプ、として、出立つたものである、
七一年九月二十七日、ご訪米の途中、
ニフソンのアンカレッジにおき、等になつた、
ニフソンの大統領領事、アメリカから、
お出迎えされた、公使は、アメリカを、
お出迎へる、と、招待せよ、との、
間、その、後、七二年六月、ニフソン、
彼、目、ま、した、時、田中首相、に、
米、に、つ、いて、ご、招待、を、は、
天皇ご訪米の、断念は、ニフソン大統領、
ニフソンの、大統領領事は、
大統領領事は、かねて、訪日を希望して、
天皇ご訪米して、米側が、
される、ことが、望ましい、とい、
府邸内にあつた、ことも、事、
陛下ご自身も、い、す、れ、は、
に、なる、だ、ら、う、その、
と、は、江、市、で、記者、
儲、信、して、いた、

し、から、に、日、米、間、で、大、筋、の、合、意、に、達、し、
い、る、十、月、中、の、天、皇、ご、訪、米、未、春、大、統、領、
政府の、意、図、に、つ、いて、孫、々、を、観、測、が、流、れ、
い、め、た、その、重、要、な、の、は、日、米、間、に、わ、
か、ま、つ、て、い、る、盛、衰、の、際、の、天、皇、ご、訪、
水、に、か、つ、つ、は、て、な、ら、れ、よ、う、と、い、ふ、
い、疑、念、で、あ、る、あ、ま、り、と、日、米、間、の、
ア、ン、バ、ラ、ン、ス、に、お、よ、つ、て、日、米、間、の、
場、合、に、進、ま、れ、た、時、期、だ、つ、た、の、で、
う、い、う、段、意、の、其、の、止、む、を、
た、で、あ、ら、う、
一、方、宮、内、府、の、
皇、が、政、治、的、
一、部、の、声、に、
持、り、て、未、だ、
内、府、の、意、見、は、
よ、う、だ、つ、た、
本、目、に、は、
心、情、と、い、て、
の、念、が、強、い、
下、の、笑、顔、が、
か、に、し、政、治、
い、皇、室、の、
な、い、か、と、い、
た、と、思、わ、れ、
だ、が、政府、首、
面、で、天、皇、ご、
う、か、その、保、
一、時、め、よう、
国、會、審、議、で、
先、は、足、踏、み、
強、化、道、途、を、
つ、あ、る、と、い、
二、子、と、い、
と、持、ち、直、し、
訪、米、の、物、
民、の、不、満、を、
政府、首、脳、が、
い、ど、こ、ろ、が、
一、番、に、ご、訪、
た、ま、す、社、会、
の、記、者、會、見、
の、中、内、閣、の、
め、に、國、民、の、
的、色、彩、が、さ、
絶、對、す、る、感、
入、植、祭、の、た、
せん、が、御、了、
承、下、さ、い、

本日は七月廿三日全行の旨ですか
入植祭のため一日遅れるかも知れま
せんが御了承下さい (係)

Cooperativa Agricola Sul. Brasil
Bastos Ltda.



祝
バストス開拓

No. 45
入植祭

バストス南伯

農業協同組合

電話 一〇七番
郵函 九一 番

Avviso de Cine Partos

日本立

七月二十二日(日)九時半
松竹
然色
開運旅

女運金運笑運続き、あちらで大もて、ここちらであわて、快調列車は終点しつす。

七月二十四日(火) 二十五日(水) 両夜とも八時
東映
然色
長崎ブルース

夜の歌謡シリーズノ 六大スター競演で人気ブルースのデラックス版ヒット曲にからみつく長崎女に東京男、

七月二十一日(金) 八時 二十八日(土) 九時半 (俳優座映画放送株式会社製作)
松竹
天然
続若者は行く

君の行く道は希望へとつづく、空にはまた一陽がのぼるとき

黒潮回体

NHKが訂正放送、

ESPORREVA JAPAN WAKAYAMA

「ミス」を認め「三位確認」... 和歌山団体... 先頭を切つて伯国団体を先頭にフランス送手同

七月二十九日(日) 九時半 三十日(月) 八時

組長くずれ

鶴田浩二 待田京介 河津清三郎
若山富三郎 菅原文太 北島三郎
藤純子 大木実 高倉健

空前の大殺陣、日本ロオールスターの圧巻、

七月三十一日(火) 八月一日(水) 両夜とも八時

花と龍

日本侠客伝 高倉健 天津敏
二谷英明 藤純子
津川雅彦 若山富三郎

高倉健に観られた任侠ファン、全二百人の愛望に燃え立つる